

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 2 月 28 日 (2013.2.28)

【公開番号】特開 2012-191666 (P2012-191666A)

【公開日】平成 24 年 10 月 4 日 (2012.10.4)

【年通号数】公開・登録公報 2012-040

【出願番号】特願 2012-143149 (P2012-143149)

【国際特許分類】

H 0 4 W 52/10 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 J 1/00 (2006.01)

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

H 0 4 J 99/00 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 Q 7/00 4 3 3

H 0 4 Q 7/00 5 4 4

H 0 4 J 1/00

H 0 4 J 11/00 Z

H 0 4 J 15/00

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 1 月 10 日 (2013.1.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のシステム周波数帯域を用いて、該システム周波数帯域毎に送信データを送信するときの送信電力を制御して、該送信データを送信する無線通信装置であって、

前記複数のシステム周波数帯域を用いて同時に前記送信データを送信するときの第 1 の最大送信電力が、一つのシステム周波数帯域を用いて前記送信データを送信するときの第 2 の最大送信電力よりも低くなるように低減量を設定すると共に、該第 1 の最大送信電力が、該第 2 の最大送信電力を超えないように、該第 1 の最大送信電力を制御する送信電力制御部を備えることを特徴とする無線通信装置。

【請求項 2】

前記送信電力制御部は、前記低減量を用いて、前記第 1 の最大送信電力を制御することを特徴とする請求項 1 に記載の無線通信装置。

【請求項 3】

複数のシステム周波数帯域を用いて、該システム周波数帯域毎に送信データを送信するときの送信電力を制御する制御方法であって、

前記複数のシステム周波数帯域を用いて同時に前記送信データを送信するときの第 1 の最大送信電力が、一つのシステム周波数帯域を用いて前記送信データを送信するときの第 2 の最大送信電力よりも低くなるように低減量を設定するステップと、

前記第 1 の最大送信電力が、前記第 2 の最大送信電力を超えないように、前記第 1 の最大送信電力を制御するステップとを少なくとも含むことを特徴とする制御方法。